

No.61 2014, Apr.

4 月・春大祭号

<http://city.hokkai.or.jp/~mtamaki/kyokai>

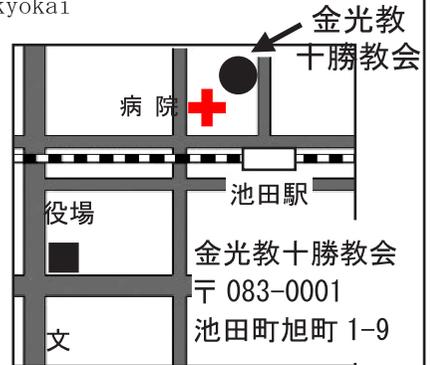


十勝教会



だより 61

☎ 015-572-2322
fax 015-572-4213



「人間は天地金乃神様の分霊わけみたまを授けられて生まれてくる」という教えがあります。人間は神様から霊みたま(いのち)を分けてもらっているのだということです。さらに天地金乃神様の御神体は天



例年になく雪の少ない冬を過ごした十勝地方、福寿草やフキノトウもいつもより早めに顔を出したようです。今年も春の御大祭を迎えました。

身近な神様の声に耳を傾ける稽古けいこを

天地金乃神大祭を迎えて

地ですから、私たちは、天地のいのちを分け与えられているということになります。

私たちは誰もが自分のいのちとして、神様(天地)のいのちを持っていくのだということになります。

教祖様の御理解(み教え)にも、「人間が食い飲みする時に、このくらいでよいと思う時が、天地の親神様のご分霊ぶんれいが分限を定められるときである。」とか、「霊みたまが体の司である」といように分霊(霊)ということを説いたものがいくつもあります。中にはそのものズバリ「人間は神様の分霊わけみたまである」と説いたものさえあります。

さて、前述の「食い飲みする時に」には続きがあります。

「それをもう一杯、また一杯と、我が食い、我が飲みして病気になる人もあるが、こ

これは神様に対しご無礼ではないか」というものです。

つまり、体の司である神様の分霊わけみたまが「もうストップ」と言っているのに、「まだ食べたい、飲みたい」という人間の欲わねたまが分霊わけみたまの働きを押しつけてしまい、その結果難儀してしまふ。自分のいのちである神様が「もうやめておけ」と言われるのに、人間の欲わねたまがそれに反することをする。そして、自分が苦しむことになる。これは食事いに例えたものですが、食事に関わらず私たちの生活すべてにあてはまることかもしれません。

○

人間には神様から授かった分霊わけみたまと、我欲がよく（自我？）という二つのいのちの働きがあるということになるのですが、せっかく神様から授かったいのち本来の働きがあるのに、それを我欲で押しつけてし

まうのは本当に失礼（無礼）、というよりももつたいたないことではないでしょうか。

○

何か困っているとき、あるいは何か大きな決断をしなければならぬとき、私たちには色々かっとうと迷いが生じます。葛藤かっとうという言葉で現されるように様々な思いがぶつかり合います。そういうときこそ、分霊わけみたまの声、我情がじょうの声、まさに自分のいのちの中の色々な声を聞くこととなります。そして、その声を意識します。

そんなときに教会で「お取次」をいただく、「神様に願う」ということは、実は自らの本当のいのちの声、分霊わけみたまの声に耳を傾けるための手段に他なりません。

神様に心向けるということは、言ってみれば自分のいのちである「神様の分霊わけみたま」に心を向けることで

す。

しかし、そのとき、周囲のほかの声が大きければなかなか分霊わけみたまの声を聞くことはできません。ほかの声とはまさに「我」、「我欲がよく」です。私たちに知らず知らずのうちに、「自分にとって都合のよいように」と願ってしまうところがあります。「自分はこれぐらいでよい」と思っているようでも、そこには「少しぐらひは自分の都合に」ということがあるのです。そういった「我」から生じる声まごに惑まどわされず、本当のいのちの声に気が付くようにしてくるのが、教祖様のお取次であり、教祖様が示して下された金光教の信心です。

○

さて、悩みはあるが葛藤かっとうはしてない、あるいは普段の生活の中ではないのちの声を意識することはないのでしょか。

案外、普段の生活の中で私たちが何かをするということは、自分では気が付かないうちに「分霊」の声か「我」の声かどちらかに従って行動しているのかもしれない。もし、知らず知らずのうちに「我」の声だけに従っているとすると、教祖様が仰った「我食い、我飲みで体を壊す」ように自分にとって悪いことを貯め続けているようなものではないでしょうか。これは自分にとってあまりよいことではありません。なんとか分霊の声に氣付きたいものです。



普段なかなか気が付かないものに注意を払うようになるには訓練が必要です。名医と呼ばれる方がように色々その道のプロと呼ばれている人たちは、一般の人が気が付かない、あるいは見落としているところを見つけていきます。た

だそのためには長い経験、訓練が必要です。そして、私たちの信心の世界では教祖様がその第一人者です。教祖様でさえ天地金乃神様のお働き、思し召しに氣付かれるまでは苦難の連続でしたが、ひとたびそれに気が付かれて以後、神様から離れられることはありませんでした。そして、教祖様は、その後を追う我々に、神様の思し召し、本当のいのちの声に気が付くための方法を様々な御理解をとおり「信心」として伝えてくださっているのです。

ありがたいことに、訓練の材料と方法はすでに用意されています。せっかく教祖様が遺してくださいました信心です、それをしっかりと受けさせてもらい、自分の中の神様の声に耳を傾ける稽古をしてみましよう。

(平成 26 年 4 月)

道東地区教会・関係教会 大祭日程

	春	秋
釧路	5 月 25 日	10 月 19 日
北見	5 月 3 日	11 月 3 日
帯広	4 月 20 日	11 月 9 日
網走	5 月 18 日	10 月 26 日
滝上	6 月 8 日	11 月 2 日
夕張	4 月 29 日	11 月 3 日
函館	5 月 13 日	11 月 13 日

第 14 回道東地区教会連合会

交流パークゴルフ大会

- ・日時 6 月 15 日 14 時 30 分
- ・会場 網走近辺
- ・終了後懇親会

「神人あいよかけよの生活運動」

道東地区集会

- ・日時 6 月 16 日 午前中
- ・会場 網走教会

※パークゴルフと 1 泊 2 日で行います。
 ※宿泊、参加費等詳細はあらためてご案内します (信徒会から助成予定)。

教会 日誌

平成26年1月1日から3月31日まで

1月1日 元日祭



- 元日祭 -

元日の教会（上）、本当に雪の少ない冬でした。祭典後のお屠蘇の振る舞い（下）。

1月2日 帯広市、I家、百日祭。

1月3日 池田町、M家、感謝祭・例年霊祭。

1月4日 士幌町、K家、T橋家、感謝祭。

1月5日 薫別講社、年頭祭。

1月5日 帯広市、M家、K家、A家、合同感謝祭。

1月10日 足寄町、S家、葬儀式、11日まで。

1月16日 帯広市、S家、葬儀式、17日まで。

1月23日 札幌市、T家、各社、合同感謝祭。

1月23日 北見市、S家、葬儀式、24日まで。

2月2日 信徒会総会。



—信徒会総会—

今年役員改選がありました。主な役員は左記のとおりです。

会長 佐々木氏

副会長 三寺氏、正岡氏

会計 桑原氏

幹事 信徒総代各氏





- 信徒総会後の新年会 -

2月3日 士幌町、S家、葬儀式、会葬参拝。

2月5日 音更町、W家、葬儀式、6日まで。

2月8日 余市町、I家、感謝祭・例年霊祭。

2月16日 足寄町、S家、五十日祭・合祀祭、式年祭。
神霊舎奉斎式。

2月21日 幕別町、K家、感謝祭・例年霊祭。

3月2日 帯広市、S家、五十日祭・合祀祭、納骨祭。

3月4日 衛先生、副教会長に任命される。

3月8日 北見市、S家、五十日祭・合祀祭。

3月20日 春季霊祭。

3月23日 士幌町、T家、式年祭。

3月23日 音更町、W家、五十日祭・合祀祭、式年祭。

4月1日 勸学祭。



- 春季霊祭 - 新霊神奉祭家玉串奉奠
祭典後はみんなでぼた餅をいただきました



4月5日 薫別講社、天地金乃神大祭。
 4月5日 帯広市、M家、式年祭。
 4月6日 大祭前大掃除、大祭打ち合わせ。

- 勸学祭 - 今年も多くの青少年が新しい一歩を踏み出しました。



— 大祭前大掃除 (次のページも) —





十勝教会これからの主な祭典行事日程

上半期感謝祭	6月29日(日)	午後1時30分
布教功労者報徳祭	8月16日(土)	午後1時30分
秋 季 霊 祭	9月23日(火・祝)	午後1時30分
生神金光大神大祭	11月16日(日)	午前11時
薫別講社生神金光大神大祭	12月5日(金)	午前11時
越 年 感 謝 祭	12月31日(水)	午後1時30分

月 例 祭 毎月1日、10日、21日 午後1時30分
 薫別講社月例祭 毎月5日 午前11時

大祭前大掃除・大祭打合せ 11月9日(日) 午前10時
 境内清掃 6月8日(日)、7月20日(日) 午前10時(雨天中止)

※各行事とも詳細はあらためてご案内します。

教区少年少女キャンプ「みどりのひろば」

日 時 8月8日(金) 14時～10日(日) 12時

場 所 旭川市21世紀の森
 旭山動物園

内 容 ゲーム、旭山動物園でのウォークラリーなど
 キャンプ生活やゲームを通じて人や自然との触れ合いなどを体験し
 ます。

※詳細はあらためてご案内します。

♪ 神 人 の 栄 光 ♪

一、 天地は神のふところ
 人はみな神のいとし子
 かぎりなき神徳のなかに
 生かされるわれ等うれしき

二、 人の世にとわの光を
 いとし子につきぬみかげを
 誓わしし教祖の神に
 救われるわれ等うれしき

- 天地金乃神大祭次第
- 先 祭員着席
 - 次 拜 礼
 - 次 神前拝詞奉唱
 - 次 取次唱詞奉唱
 - 次 祭主祭詞奏上
 - 次 祭主玉串奉奠
 - 次 天地書附奉体
 - 次 教会長玉串奉奠
 - 次 参拝者代表玉串奉奠
 - 次 神徳賛詞奉唱
 - 次 神人の栄光斉唱
 - 次 拜 礼
 - 次 祭員退下
 - 次 吉備舞奉納「天地」
 - 次 御神伝奉読・講師紹介
 - 次 教 話
 - 次 講 師 金光教帯広教会
 - 次 田中敬一 先生

かみひと 神人 あいよかけよの生活運動

金光教十勝教会

願 い

御取次を願ひ頂き

神のおかけにめざま

おれと喜びの生活を進め

神心となつて人を 祈り

助け 導き

神人の道をあらわそう



KONKOKYO
 金 光 教

食 前 訓

食物はみな人の命のために
 天地乃神のつくり
 与え給うものぞ

何を食うにも飲むにも
 ありがたく頂く心を忘れなよ

食 後 訓

体の丈夫を願え

体をつくれ

何事も体が元なり